ART 2016 茨城県北芸術祭

PRESS RELEASE vol.6 2016年10月 茨城県北芸術祭実行委員会

2016年9月17日(土)~11月20日(日)http://kenpoku-art.jp KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭

10月15日(土)新たな二作品がついに完成

妹島和世 (落合陽ーコラボレーション) による足湯《Spring》 チェ・ジョンファによる新作彫刻 《山海魚 LOVE》



妹島和世建築設計事務所《Spring》イメージパース 2016

茨城県北芸術祭実行委員会(会長:橋本 昌(茨城県知事))は、2016年9月17日 (土) から 11月20日 (日) までの 65日間、 茨城県北地域6市町(日立市、高萩市、北茨城市、常陸太田市、常陸大宮市、大子町) を舞台にした初めての国際芸 術祭「KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭」を開催しています。

この開催期間中の10月15日(土)に、新たに二つの新作が完成します。一つは建築家 妹島和世が、現代の魔法使いといわれる落合陽一とコラボレーションして制作する、旧浅川温泉(茨城県大子町)の足湯施設《Spring》。もう一つは韓国を代表するアーティスト、チェ・ジョンファが制作する「海と山の出会い」をテーマにした竜神大吊橋(茨城県常陸太田市)の彫刻作品《山海魚 LOVE》。

この芸術祭に二つの新たな見所が追加されました。是非、ご紹介ください。

【報道関係者向けお問い合わせ先】

茨城県北芸術祭実行委員会東京事務局 (エヌ・アンド・エー 株式会社内)

TEL: 03-5545-3627 FAX: 03-5545-3628 Email: press@kenpoku-art.jp

【各種お問い合わせ先】

茨城県北芸術祭実行委員会事務局

〒310-8555 茨城県水戸市笠原町 978番6 TEL 029-301-2727(直通) FAX:029-301-2738 E-mail:info@kenpoku-art.jp

1

ART 2016 茨城県北芸術祭

PRESS RELEASE vol.6 2016年10月 茨城県北芸術祭実行委員会



妹島和世 新作《Spring》 同時コラボレーション作品 落合陽一《空気のせせらぎ》

茨城県日立市出身の建築家・妹島和世による最新作《Spring》は、美しい里山の風景に抱かれる浅川温泉の敷地に、円盤状の彫刻の形をした足湯で素晴らしい泉質の温泉を楽しむことが出来る新たな施設です。また足湯の中央部分では本芸術祭参加アーティストの落合陽一による、久慈川のせせらぎを用いたサウンドアート《空気のせせらぎ》が聞こえてきます。

《Spring》概要

住所: 茨城県久慈郡大子町浅川2336-1

開館時間:9:30-16:30 足湯利用料:一般:300円 学生・高齢者(65歳以上の方):200円

※足湯ご利用の来場は16:00まで ※会期中無休

大子町の旧浅川温泉は、山から久慈川へと続く緩やかな斜面の中程に位置し、県北の美しくのどかな風景の中にある。そこには温泉とともに古く大きな藤棚もあり、地域の人たちが長くこの地に集ってきた雰囲気を敷地からどことなく感じることができる。

敷地の入り口の急な坂道を登り切ると、目の前にその穏やかな風景とともに足湯が広がる。足湯は、直径10mの鏡面のアルミのお皿のような形をしている。白っぽく反射するアルミの面と緩やかに揺れるお湯の面にそれぞれ風景や空が映りこみ、不思議な風景の重なりが生まれる。訪れた人たちはその風景の重なりの中に入り、足湯を楽しむ。人とお湯と風景の新しい関係が生まれ、自然に人が集まることのきっかけとなってくれればと思う。

妹島和世



はしまかずよ

1956年茨城県生まれ/東京都在住

建築家。アクリルや金属板などの素材を用い、空間と人がゆるやかに接続し合う建築設計で知られる。1987年妹島和世建築設計事務所設立。1995年西沢立衛と共にSANAAを設立。主な建築作品に金沢21世紀美術館、ニューヨークのニューミュージアム、ルーヴル美術館分館のルーヴル=ランスなど。2010年、第12回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展の総合ディレクターを務める。主な受賞に、日本建築学会賞、ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展金獅子賞、プリツカー賞など。※上記の建築作品、受賞は全てSANAA名義。



おちあいよういち **抜 仝 爬** __

1987年東京都生まれ/在住

メディアアーティスト、筑波大学助教、デジタルネイチャー研究室主宰、VRC理事。コンピュータと人の新たなる関係性を実証するため、実世界志向コンピュータグラフィクスやヒューマンコンピューテーション、アナログとデジタルテクノロジーを混在させたメディアアート表現を行う。2015年、World Technology Networkより「World Technology Award」を受賞、情報処理推進機構よりスーパークリエータ/天才プログラマー認定を受けるなど受賞歴多数。講演活動や研究のアウトリーチ活動に加え、企業・アーティストとのコラボレーション作品を発表し、国内外で注目を集めている。芸術祭では常陸大宮市・旧美和中学校で《コロイドディスプレイ》を含む複数の作品を展示。

ART 2016 茨城県北芸術祭

PRESS RELEASE vol.6 2016年10月 茨城県北芸術祭実行委員会

山水海水魚水?





キアズマ (ヘルシンキ現代美術館) での展示風景 2016

チェ・ジョンファ 新作《山海魚 LOVE (YAMAUMISAKANA - LOVE) 》

韓国を代表する現代アーティスト、チェ・ジョンファによる最新作は、海の 魚と山の魚が龍神橋で出会うという物語で竜神大吊橋に展示されます。魚は 愛と豊穣をあらわし、我々に家族、恋人、友人との出会いと愛情を思い起こ させます。ふたつの魚の表面は、不要になった買い物用のレジ袋などを使っ て作られていて、廃物利用という環境問題に対するコメントにもなっていま す。海と山の出会い、そしてその愛は、県北芸術祭のおおきなテーマつながっ ているでしょう。

この作品は天人合一そのものです。時にアートは見捨てられたものや 愛のある生活を回想させるもの。アートは生きることそのものなので す。あなたもアーティスト、だれもがアーティスト。すべてがアート です。アートはなにかを説明するために存在するのではありません。 アートに触れた時、私たちの心にわきおこったもの、それが答えなの です。

チェ・ジョンファ

《山海魚 LOVE / YAMAUMISAKANA - LOVE》概要

展示場所: 竜神大吊橋 住所: 茨城県常陸太田市天下野町2133-6 鑑賞時間: 8:30-17:00

渡橋料: 有料 ※作品鑑賞パスポートをご持参の方、及び中学生以下は無料

10月15日(土)チェ・ジョンファが現地に滞在いたします。

時間:10:00-12:00、13:00-15:00

10月15日(土)ワークショップを開催いたします。

みんなでチェ・ジョンファさんといっしょに山海魚を造りましょう。家庭や職場ででたレジ袋などをお持ち寄りください。

時間:10:30-12:00、13:00-14:30 *申込不要、屋外作品のため雨天中止



チェ・ジョンファ CHOI Jeong Hwa

1961年、韓国生まれ/在住

韓国を代表する現代アーティスト。アート・ディレクションやインテリア・デザインも手がけるなど多様な分野で国際的に活躍するチェは、日常の事物から作品の着想を得て、強烈な色使いとダイナミックな造形で花や雲と空、などを制作し非日常的な彫刻作品をつくりあげ、我々の気づいていなかった視点をもって現実のあり方を見直すことを促している。アジア、ヨーロッパ、アメリカでの個展、グループ展参加多数。



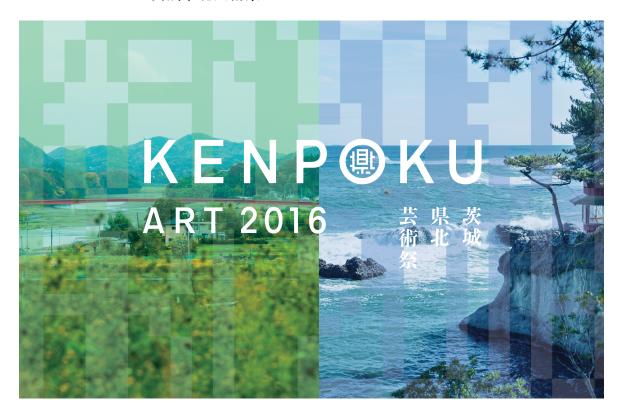
竜神峡

茨城県の奥久慈県立自然公園に位置します。竜神峡にひろがるV字形の美しい渓谷の中を流れる竜神川をせき止めた竜神ダムの上に竜神大吊橋はかけられました。橋の長さは375mあり、歩行者専用の橋としては本州一の長さを誇ります。ダム湖面よりの高さは100m、橋の上からの眺めは絶景で、四季おりおりのパノラマが広がります。橋の両側にある壁面には山と大地をイメージした絵が描かれており、橋はその大自然の空間を舞い上がる竜を想起させます。

ART 2016 茨城県北芸術祭

PRESS RELEASE vol.6 2016年10月 茨城県北芸術祭実行委員会

KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭について



茨城県北芸術祭実行委員会(会長:橋本 昌(茨城県知事))は、2016年9月17日(土) から11月20日(日)までの65日間、茨城県北地域6 市町((日立市、高萩市、北茨城市、常陸太田市、常陸大宮市、大子町))の海と山を舞台に、国際芸術祭「KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭」を開催いたします。

風光明媚な海と山が織り成す豊かな自然に恵まれた茨城県北地域を舞台に、自然と調和するアート、科学技術を用いたメディアアート、さらに次世代の変革を担う生物学を援用したアートなど、最先端の芸術作品も登場します。総合ディレクターに森美術館館長の南條史生氏を迎え、日本最大級の規模で展開する芸術祭です。

開催概要

名称 KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭

テーマ 海か、山か、芸術か?

会期 2016年9月17日(土)~11月20日(日)[65日間]

開催市町 茨城県北地域6市町 日立市、高萩市、北茨城市、常陸太田市、常陸大宮市、大子町

作品数 約100 (プロジェクトを含む。17の国と地域より85組のアーティストが参加) 主な展示会場 1 五浦・高萩海浜エリア(茨城県天心記念五浦美術館周辺や高萩市の海浜部)

2日立駅周辺エリア(JR常磐線日立駅周辺)

3 奥久慈清流エリア(常陸大宮市の久慈川流域やJR水郡線常陸大子駅前地区)

4 常陸太田鯨ヶ丘エリア(常陸太田市中心部)

ディレクターチーム 総合ディレクター:南條 史生

キュレーター:四方 幸子、金澤 韻

クリエイティブディレクター: 谷川 じゅんじ コミュニケーションディレクター: 林 千晶

オフィシャルデザイナー: 岡本 健 ジェネラルマネージャー: 桑原 康介

公式ホームページ http://kenpoku-art.jp

イメージ映像 https://youtu.be/MvCDvyw0-0A

